

## 手足口病が全国で流行中

小児の夏の感染症の代表格、手足口病。今年は全国的に流行し、ニュースなどでも取り上げられています。釧路管内でも流行の兆しが見られています。乳幼児を中心に流行する疾患ですが、大人もうつってしまうことがあります。今回は、手足口病について取り上げます。

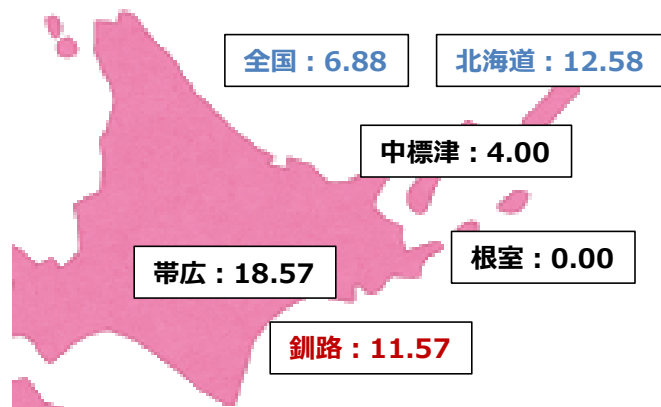
### 手足口病ってどんな病気？

例年5月頃から10月くらいまでの期間に増加し、7月頃がピークとされています。コクサッキーウイルス、エンテロウイルスが原因の感染症です。5歳児以下の乳幼児に多く見られます。原因のウイルスが複数あるため一度罹患しても、別のウイルスの型による手足口病を発症することがあります。

### 症状は？

手のひら、足のうらや足の甲、口のなかに米粒大の発疹（白っぽい水ぶくれのような発疹）があらわれます。お尻や肘、膝にも発疹が出現します。発熱は全体の30%、多くは発熱しないほうが多い。通常、3～7日で消退します。

### 釧路管内保健所のデータ(8/5/～8/11)の期間に小児科定点医療機関からの報告数)



全国的に大流行中の手足口病。北海道は少し遅れて患者数が増えてきました。釧路は1医療機関9人以上の患者が発生しています。患者が増加してきたため、釧路保健所も注意を呼びかけています。手洗いをしっかり行いましょう。

ウイルスは症状が軽快しても2～4週間便から排泄されます。



口の中にも発疹出現。痛みで食べられないことも…

### 治療・予防方法・感染経路は？

咳やくしゃみなどからの飛沫感染と、便や水疱内容物のウイルスが手を介して感染する接触感染があります。

治療は対症療法。有効なワクチンはありません。また手足口病の予防薬もありません。治った後でも、比較的長期間、便などからウイルスが排泄されることがあります（2～4週間）。また、流行時には無症状病原体保有者も相当数存在していると考えられるため、発病者を長期間隔離しても有効な感染対策とはならず、現実的でないといわれています。登園や出勤は医師に指示によりますがお子さんの場合、元気でご飯も食べられていれば登園可能としているようです。

感染拡大防止には手洗いの励行が重要。標準予防策の徹底が大切です。



### 合併症は？

髄膜炎、小脳失調症、急性弛緩性麻痺、脳炎などの中枢神経系疾患を引き起こすことがあります。

涼しかった7月が終わり8月は暑い日が続きました。夏の感染症は手足口病だけではなく、流行性角結膜炎やプール熱などのアデノウイルス感染症も流行します。また、暑い時期には食中毒も発生しやすくなります。食中毒は細菌が繁殖して起こります。食品の管理も大切です!!

次回もお楽しみに！

